

九州シンクタンク六社会共同調査 特別編  
九州新幹線全線開通の影響調査

【目次】

はじめに	1
1．2010年度時点で福岡地区を訪れる際に利用したい交通機関	2
2．九州新幹線の全線開通による福岡地区利用への影響	3
3．福岡地区への訪問が増える際の目的	4
4．福岡地区への訪問が減る、変わらない理由	6

平成18年12月

財団法人 地域流通経済研究所

## はじめに

地方銀行系のシンクタンクで構成する「九州シンクタンク六社会」の第二回目の共同調査として、平成 18 年 7 月に九州 5 県の生活者を対象に福岡地区での消費・購買動向調査を実施し、先般、その結果を公表した。本稿は鹿児島地域経済研究所（鹿児島市）と当研究所が独自の設問として尋ねた「九州新幹線全線開通の影響調査」の結果をまとめたものである。本アンケートが、今後の都市のあり方を探るうえでの参考になれば幸いである。

### 【調査概要】

- ・ 調査対象：熊本市・鹿児島市に在住の男女（各市 400 名、合計 800 名）
- ・ 調査方法：電話帳無作為抽出によるプレコール方式郵送法
- ・ 調査時期：平成 18 年 7 月
- ・ 有効回答：440 人（有効回答率 55.0%）
- ・ 回答者の属性

回答者の属性（年齢）

属性	構成比（%）	
	熊本市	鹿児島市
10・20代	13.2	12.8
30代	20.3	19.9
40代	21.1	19.9
50代	25.1	23.7
60代以上	20.3	23.7

回答者の属性（性別）

属性	構成比（%）	
	熊本市	鹿児島市
男性	30.5	31.3
女性	69.5	68.7

( 1 ) 2010 年度時点で福岡地区を訪れる際に利用したい交通機関

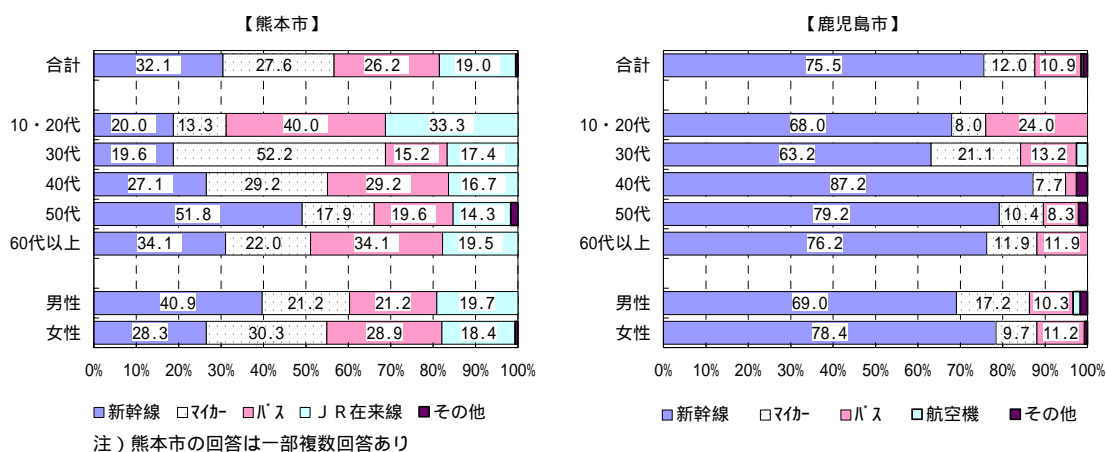
～両地域とも新幹線がトップ、熊本市では利用交通機関の分散化が窺える結果に～

九州新幹線の全線開通が予定される 2010 年度時点で、福岡地区を訪れる際に利用したい交通機関を訪ねたところ、熊本市在住者では「新幹線」が 32.1% でトップ、以下、「マイカー」( 27.6% ) 「バス」( 26.2% ) 「JR 在来線」( 19.0% ) と続いた。これを年代別にみると、「新幹線」は 50 代が 51.8% で最も高くなるなど、比較的高い年齢層で利用意向が強い。また、「マイカー」では 30 代や 40 代といったファミリー世帯と思われる層の支持が高く、「バス」や「JR 在来線」では若い年齢層の支持が高くなった。男女別では、「新幹線」は男性の支持が高く、「マイカー」や「バス」では女性の支持が高くなっている。

また、鹿児島市在住者では「新幹線」が 75.5% でトップ、以下、「マイカー」( 12.0% ) 「バス」( 10.9% ) 「航空機」( 0.5% ) と続いた。これを年代別にみると、「新幹線」は 40 代の 87.2% が最も高く、熊本市在住者と同様に比較的高い年齢層で利用意向が強くなっている。また、「マイカー」では 30 代、「バス」は 10・20 代などの比較若く年代の支持が高い。男女別では、「新幹線」で女性が、「マイカー」では男性の支持が高くなっている。

両地域を比較すると、男女別の「新幹線」や「マイカー」の利用意向で熊本市在住者と鹿児島市在住者に違いがみられたが、時間短縮効果や運賃負担への評価などが影響しているものと思われる( 詳細は後述 )。

図表 1 2010 年度時点で福岡地区を訪れる際に利用したい交通機関



## (2) 九州新幹線の全線開通による福岡地区利用への影響

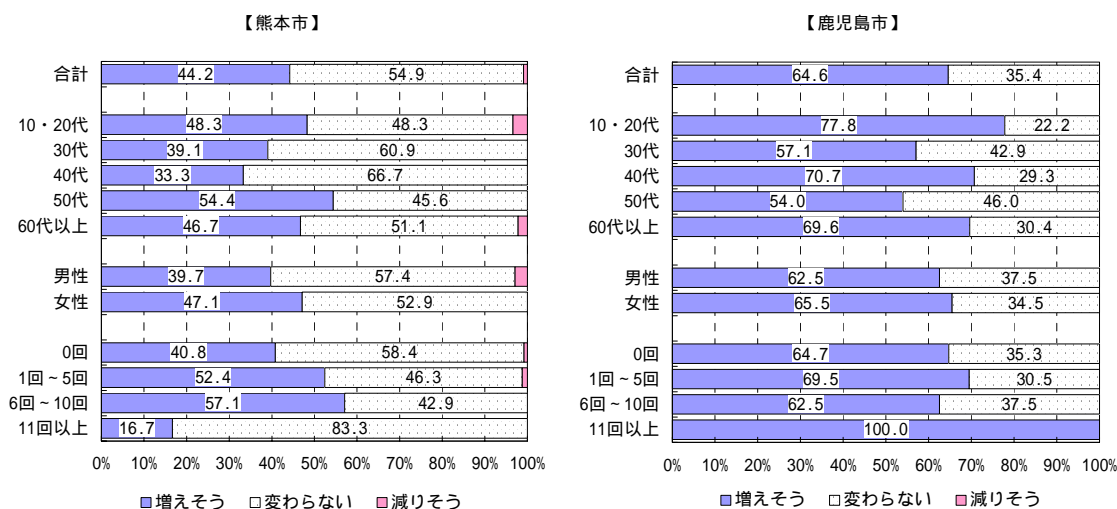
～「増えそう」は熊本市が4割、鹿児島市が6割、福岡への訪問は更に増加する見込み～

九州新幹線の全線開通による福岡地区利用への影響について尋ねたところ、熊本市在住者は「変わらない」が54.9%で最も多く、「増えそう」は44.2%、「減りそう」が0.9%であった。年代別にみると、「増えそう」と回答したのは「50代」の54.4%が最も高く、唯一過半を超えており、「40代」や「30代」では30%台にとどまっている。男女別では、「女性」が「男性」を7.4ポイント上回るなど相対的に高い関心が窺えた。なお、最近1年間の訪問回数別にみると、「0回」と回答した人のうち、約4割が「増えそう」と回答している。

一方、鹿児島市在住者は「増えそう」が64.6%で最も多く、「変わらない」は35.4%、「減りそう」という回答は皆無であった。年代別にみると、「増えそう」と回答したのは「10・20代」の77.8%が最も高く、以下、「40代」の70.7%、「60代以上」の69.6%と続き、最も低かった「50代」でも過半を超えるなど、総じて高い関心が窺えた。なお、最近1年間の訪問回数別にみると、「0回」と回答した人のうち、約6割が「増えそう」と回答しており、「11回」以上では全ての人が「増えそう」と回答している。

両地域を比較すると、総じて鹿児島市在住者で高い関心が窺える。熊本市では、現在でもJRや高速バス、マイカーなどを利用して1時間程度の移動時間で福岡地区への訪問が可能であり、「福岡地区での消費・購買動向調査」(以下、本編調査)の結果をみても、最近1年間で福岡地区を訪問した人の平均回数は年3.7回と、調査対象となった6都市のうち、佐世保市に次いで多い水準となっている。ただ、熊本市在住者も5割近い人が「増えそう」と回答しており、九州新幹線の全線開通は熊本県から福岡地区への人の流れを更に加速しそうである。一方、鹿児島市は時間の短縮効果がより大きいことなどから、総じて高い関心がみられており、九州新幹線の全線開通は熊本県以上に大きなインパクトを与えそうである。

図表2 九州新幹線の全線開業による福岡地区利用への影響



(3) 福岡地区への訪問が増える際の目的

～両地域とも全線開通後はコンサート・観劇などのレジャー関連が大幅に上昇～

九州新幹線の全線開通後に福岡地区への訪問が「増えそう」と回答した人に、その際の目的を尋ねたところ、熊本市在住者では「買い物」が70.0%でトップ、以下、「コンサート」(52.0%)、「観劇」(51.0%)、「スポーツ観戦」(48.0%)と続いた。これを本編調査の「最近1年間に福岡地区を訪れた際の目的」と比較すると、「買い物」は3.4ポイント下落したものの、「コンサート」は35.7ポイントの上昇、「観劇」は31.5ポイントの上昇、「スポーツ観戦」は32.8ポイントの上昇となった。熊本市在住者は現状でもレジャー目的の福岡地区訪問が相対的に多くなっているが、九州新幹線の全線開通後は時間短縮効果などもあって、その流れが更に加速しそうである。買物目的の訪問については全体で数値が下がっているが、女性では僅かながら上昇している。

また、鹿児島市在住者では「買い物」が72.2%でトップ、以下、「観劇」(38.3%)、「コンサート」(34.6%)、「祭り・各種イベント」(33.8%)と続いた。これを「最近1年間に福岡地区を訪れた際の目的」と比較すると、「買い物」は3.4ポイントの上昇、「観劇」は21.1ポイントの上昇、「コンサート」は22.8ポイントの上昇、「祭り・各種イベント」は12.3ポイントの上昇となっており、「映画」の1.3ポイント減を除く全ての目的で現状を上回った。鹿児島市在住者も、九州新幹線の全線開通による時間短縮効果により、レジャーを目的とした福岡地区訪問が大幅に増えそうである。なお、買物目的の訪問についてはそれほど大きな変化はみられないが、年代別にみると、「10・20代」では12.8ポイントの上昇となっており、数値自体も95.2%と極めて高い値となっていることは注目される。

現状と開通後の訪問目的の変化をみると、両地域ともレジャー関連の伸びが著しく、熊本市在住者、鹿児島市在住者の潜在ニーズの高さが窺える結果となった。これは、熊本市、鹿児島市において提供できていない文化的な機能などを表しているものと思われるが、これらを充実させるには資金面など相応の負担も伴うため、今後は福岡地区との棲み分けも視野に入れながら、全線開通までの4年間で地域の特性を活かした都市機能充実への取り組みが求められそうである。

図表3 九州新幹線全線開通後に福岡地区への訪問が増えると回答した人の、その際の訪問目的 (複数回答)

(単位: %)

	【熊本市】								【鹿児島市】									
	全体	年齢別						男女別		全体	年齢別						男女別	
		10・20代	30代	40代	50代	60代以上	男性	女性	10・20代		30代	40代	50代	60代以上	男性	女性		
買い物	70.0	85.7	77.8	93.8	58.1	52.4	51.9	76.4	72.2	95.2	79.2	75.9	66.7	53.1	50.0	81.7		
コンサート	52.0	64.3	44.4	68.8	54.8	33.3	40.7	55.6	34.6	52.4	41.7	37.9	29.6	18.8	32.5	35.5		
観劇	51.0	21.4	44.4	43.8	61.3	66.7	40.7	54.2	38.3	23.8	37.5	37.9	40.7	46.9	35.0	39.8		
スポーツ観戦	48.0	50.0	50.0	37.5	51.6	47.6	63.0	41.7	30.8	23.8	41.7	31.0	25.9	31.3	55.0	20.4		
祭り・各種イベント	26.0	35.7	22.2	18.8	29.0	23.8	29.6	25.0	33.8	33.3	37.5	27.6	22.2	46.9	30.0	35.5		
各種展覧会	22.0	7.1	5.6	6.3	38.7	33.3	22.2	22.2	30.1	9.5	25.0	44.8	29.6	34.4	37.5	26.9		
食(グルメ)	15.0	14.3	11.1	6.3	9.7	33.3	14.8	15.3	28.6	19.0	29.2	37.9	25.9	28.1	35.0	25.8		
映画	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	1.4	3.0	4.8	4.2	3.4	0.0	3.1	2.5	3.2		
その他	4.0	0.0	0.0	0.0	3.2	14.3	3.7	4.2	3.8	0.0	4.2	3.4	7.4	3.1	2.5	4.3		

【参考図表1】 最近1年間に福岡地区を訪れた人の目的(複数回答:六社会共同調査本編より)

(単位:%)

	【熊本市】								【鹿児島市】							
	全体	年齢別					男女別		全体	年齢別					男女別	
		10・20代	30代	40代	50代	60代以上	男性	女性		10・20代	30代	40代	50代	60代以上	男性	女性
買い物	73.4	88.5	80.5	73.5	66.4	57.9	71.1	74.1	68.8	82.4	75.0	66.7	69.2	56.0	63.0	71.2
コンサート	20.6	18.9	18.9	22.4	17.5	25.6	24.2	19.1	16.1	23.5	25.0	5.6	15.4	12.0	11.1	18.2
観劇	19.5	6.6	15.1	19.0	23.4	33.1	9.3	23.5	17.2	11.8	20.0	16.7	23.1	16.0	7.4	21.2
スポーツ観戦	16.3	28.7	19.5	15.0	10.9	7.5	9.8	18.7	11.8	5.9	15.0	27.8	0.0	8.0	29.6	4.5
祭り・各種イベント	15.2	8.2	17.6	25.9	10.9	11.3	23.2	12.2	10.8	5.9	5.0	22.2	15.4	8.0	18.5	7.6
各種展覧会	12.3	2.5	8.8	8.8	19.7	21.8	12.9	11.8	10.8	5.9	10.0	5.6	15.4	16.0	11.1	10.6
食(グルメ)	10.7	9.0	8.2	15.6	13.1	7.5	14.4	9.4	21.5	23.5	20.0	33.3	23.1	12.0	40.7	13.6
映画	2.3	4.1	3.8	1.4	1.5	0.8	2.6	2.2	4.3	5.9	5.0	5.6	0.0	4.0	7.4	3.0
その他	17.2	15.6	13.2	13.6	21.2	23.3	17.0	17.3	21.5	11.8	15.0	11.1	23.1	40.0	22.2	21.2

【参考図表2】 現在と開通後の福岡地区を訪れる際の目的の差

(図表3の数値から参考図表1の数値を引いたもの)

(単位:ポイント)

	【熊本市】								【鹿児島市】							
	全体	年齢別					男女別		全体	年齢別					男女別	
		10・20代	30代	40代	50代	60代以上	男性	女性		10・20代	30代	40代	50代	60代以上	男性	女性
買い物	3.4	2.8	2.7	20.3	8.3	5.5	19.2	2.3	3.4	12.8	4.2	9.2	2.5	2.9	13.0	10.5
コンサート	31.4	45.4	25.5	46.4	37.3	7.7	16.5	36.5	18.5	28.9	16.7	32.3	14.2	6.8	21.4	17.3
観劇	31.5	14.8	29.3	24.8	37.9	33.6	31.4	30.7	21.1	12.0	17.5	21.2	17.6	30.9	27.6	18.6
スポーツ観戦	31.7	21.3	30.5	22.5	40.7	40.1	53.2	23.0	19.0	17.9	26.7	3.2	25.9	23.3	25.4	15.9
祭り・各種イベント	10.8	27.5	4.6	7.1	18.1	12.5	6.4	12.8	23.0	27.4	32.5	5.4	6.8	38.9	11.5	27.9
各種展覧会	9.7	4.6	3.2	2.5	19.0	11.5	9.3	10.4	19.3	3.6	15.0	39.2	14.2	18.4	26.4	16.3
食(グルメ)	4.3	5.3	2.9	9.3	3.4	25.8	0.4	5.9	7.1	4.5	9.2	4.6	2.8	16.1	5.7	12.2
映画	1.3	4.1	3.8	1.4	1.5	4.0	2.6	0.8	1.3	1.1	0.8	2.2	0.0	0.9	4.9	0.2
その他	13.2	15.6	13.2	13.6	18.0	9.0	13.3	13.1	17.7	11.8	10.8	7.7	15.7	36.9	19.7	16.9

(4) 福岡地区への訪問が減る、変わらない理由

～「地元のお店でも満足できそうだから」という意見が熊本市で4割、鹿児島市で5割～  
九州新幹線の全線開通後に福岡地区への訪問が「減る」、「変わらない」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、熊本市在住者では「地元のお店でも満足できそうだから」が44.9%でトップ、次いで「新幹線の運賃（交通費）が高そうだから」が42.4%、以下、「現在もよく利用しているから」（22.9%）、「移動時間がもったいないから」と続いている。年代別にみると、「地元のお店でも満足できそうだから」と回答したのは「50代」、「40代」、「60代以上」で高い値となっており、「新幹線の運賃が高そうだから」は「10・20代」で最も高くなっている。男女別では「新幹線の運賃が高そうだから」は男性が23.7%、女性が53.2%と大きな差がみられた。

一方、鹿児島市在住者は「地元のお店でも満足できそうだから」が54.8%でトップ、次いで「新幹線の運賃（交通費）が高そうだから」が37.0%、以下、「現在もよく利用しているから」（11.0%）と続いている。上位の順位は熊本市在住者と全く同じであり、年代別にみても全年代で平均に近い値となっている。また、男女別では、「新幹線の運賃が高そうだから」は男性が45.8%、女性が32.7%となっており、熊本市在住者と逆の結果となった。これは、運賃負担と時間短縮効果に対する評価の違いが表れたものと思われる。基本的に熊本市と鹿児島市の女性は福岡地区に高い魅力を感じているものと思われ、訪問意向度は総じて高いが、熊本市の女性では既存の交通手段の選択肢も多いため、運賃への抵抗感がより強く表れたものと思われる。一方、鹿児島市の女性にとっては、全線開通後は九州新幹線が最も効率の良い交通手段となることが予想されることから、運賃への抵抗感も比較的少ないようである。

なお、両地域とも地元の魅力をあげる意見が多くみられたことは興味深い結果であるといえる。九州新幹線の全線開通は福岡地区への一極集中を加速する可能性もあるが、熊本市、鹿児島市ともに、福岡地区との棲み分けも模索しながら、住機能、商業機能、文化的な機能などを高める努力を重ね、全線開通までの残された4年間で更なる都市機能の充実を図ることを期待したい。

図表4 九州新幹線全線開通後に福岡地区への訪問が減る、変わらないと回答した人の理由  
(複数回答)

(単位：%)

	【熊本市】								【鹿児島市】									
	全体	年 齢 別						男 女 別		全体	年 齢 別						男 女 別	
		10・20代	30代	40代	50代	60代以上	男性	女性	10・20代		30代	40代	50代	60代以上	男性	女性		
地元のお店でも満足できそうだから	44.9	20.0	33.3	54.8	54.2	52.4	44.7	42.9	54.8	50.0	50.0	58.3	56.5	57.1	62.5	51.0		
新幹線の運賃（交通費）が高そうだから	42.4	73.3	59.3	41.9	16.7	28.6	23.7	53.2	37.0	33.3	44.4	33.3	39.1	28.6	45.8	32.7		
現在もよく利用しているから（高速バス、JR等）	22.9	46.7	18.5	22.6	16.7	19.0	23.7	23.4	11.0	16.7	16.7	0.0	8.7	14.3	12.5	10.2		
移動時間がもったいないから	13.6	6.7	3.7	19.4	20.8	14.3	13.2	13.0	8.2	16.7	5.6	8.3	4.3	14.3	12.5	6.1		
インターネットショッピング・通信販売等の利用が増えそうだから	11.0	6.7	22.2	9.7	12.5	0.0	13.2	10.4	8.2	0.0	5.6	16.7	13.0	0.0	16.7	4.1		
その他	14.4	6.7	22.2	9.7	12.5	19.0	13.2	15.6	23.3	16.7	33.3	25.0	13.0	28.6	20.8	24.5		